

今回の方法では、受給者が居住地都道府県外へ転出した場合は必ずリンケージ漏れとなる。また、性、生年月日の入力ミスによってリンケージ漏れが生ずるおそれもある。リンケージ漏れがあると、継続受給者でなく、受給の中止者に分類される。さらに、中止後に再度受給しても再開者として扱われない場合もある。都道府県外へ転出した受給者や性、生年月日の記載に誤りのある受給者の頻度は不明であるが、これらのリンケージ漏れが多い場合は、中止者数と非継続者数の過大評価になる。性、生年月日の入力ミスによるリンケージ漏れを少なくする対策として、前記のように一部不一致の項目があっても同一とみなす方法を取ったが、京都府では92年度の市町村コードが未回答であり、性、生年月日の入力ミスがあった場合は、この考慮もなく、リンケージ漏れとなっている。

異なる患者を同一とみなす誤リンケージについては、難病患者が少ないことから、その割合は小さいと推察される。例えば、疾患ごとに居住地都道府県、性、生年月日の全てが一致して同一患者とみなした場合、表Ⅱに示すように、大部分が受給者番号または居住地市町村も一致している者である。このため、難病患者の希少性を考慮すると、誤リンケージの割合はきわめて小さいといえる。

3) 解析方法

医療受給者証の交付手続きは、これまで原則として単年度ごとに行われてきた。受給者によっては医療受給の中止・開始が繰り返される可能性がある。したがって、全国調査を実施した4年間隔あるいは5年間隔の受給状況だけで厳密には受給の継続（中止・再開）状況を定めることはできない。本報告書では調査年度以降の継続状況と過去の受給状況の2つの視点で継続状況を示した。

(1) 受給者の継続状況

84年度、88年度、92年度の各調査年度に観察された受給者が、それ以降に実施された全国調査の時点でも受給しているか否かで継続状況を区分し、疾患別、性・年齢階級別、医療保険の種類別、都道府県別に集計し図表で示した。継続状況の区分は次のとおりである（表Ⅲを参照）。例えば、84年度受給者については、次の5区分で示した。まず、一度受給を中止した場合は再開すること（中止後再開）がないと考えると、4つに区分できる。すなわち、84年度以降に実施された全ての調査で受給していた者（13年継続：84889297と示す。以下同様）、88年度と92年度は受給していたが97年度は非受給であった者（8年継続：848892×）、88年度は受給していたが以後の年度は非受給であった者（4年継続：8488××）、88年度、92年度、97年度の何れも非受給であった者（継続なし：84×××）の4区分である。これに一度受給を中止したが再び受給を開始した者（中止後再開）を合わせた計5区分で84年度の受給者は示した。なお、中止後再開の内訳は厳密にみると、88年度は受給していたが92年度は非受給で97年度に再び受給した者（8488×97）、88年度は非受給で92年度と97年度は共に受給していた者（84×9297）、88年度は非受給で92年度に再び受給したが97年度は非受給であった者（84×92×）、88年度と92年度は共に非受給で97年度は再び受給した者（84××97）の4つに区分される。

しかし、これらの区分に含まれる人数は少ないため、本報告書では一括して中止後再開とした。88年度受給者も84年度と同様の考え方で、9年継続（889297）、4年継続（8892×）、継続なし（88××）、中止後再開（88×97）の4区分、92年度受給者は、5年継続（9297）、継続なし（92×）の2区分でそれぞれ示した。なお、集計時の年齢は、いずれも継続状況の起点となる調査年度の年齢を使用した。

表Ⅲ 84、88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況

調査年度	84	88	92	97	全受給者数	新規受給者数	* (%)
1984年度受給者	○	?	?	?	104,771 (100%)	35,738 (100%)	34.1
13年継続 84889297	○	○	○	○	44,552 (42.5%)	14,394 (40.3%)	32.3
8年継続 848892×	○	○	○	×	12,484 (11.9%)	3,907 (10.9%)	31.3
4年継続 8488××	○	○	×	×	13,892 (13.3%)	4,577 (12.8%)	32.9
継続なし 84×××	○	×	×	×	27,730 (26.5%)	1,059 (3.0%)	3.8
中止後再開 (小計)					6,113 (5.8%)	2,270 (6.4%)	37.1
8488×97	○	○	×	○	1,447 (1.4%)	523 (1.5%)	36.1
84×9297	○	×	○	○	2,447 (2.3%)	875 (2.4%)	35.8
84×92×	○	×	○	×	1,133 (1.1%)	429 (1.2%)	37.9
84××97	○	×	×	○	1,086 (1.0%)	443 (1.2%)	40.8
1988年度受給者	?	○	?	?	173,637 (100%)	32,221 (100%)	18.6
9年継続 889297	?	○	○	○	94,217 (54.3%)	14,199 (44.1%)	15.1
4年継続 8892×	?	○	○	×	30,723 (17.7%)	5,780 (17.9%)	18.8
継続なし 88××	?	○	×	×	44,781 (25.8%)	11,394 (35.4%)	25.4
中止後再開 88×○	?	○	×	○	3,916 (2.3%)	848 (2.6%)	21.7
1992年度受給者	?	?	○	?	247,726 (100%)	41,230 (100%)	16.6
5年継続 9297	?	?	○	○	172,299 (69.6%)	24,552 (59.5%)	14.2
継続なし 92×	?	?	○	×	75,427 (30.4%)	16,678 (40.5%)	22.1

○：受給、×：非受給、?：受給または非受給、*：(新規受給者数)／(全受給者数)×100を示す。

また、前記の区分方法を用いて、例えば84年度受給者については4年間（88年度まで）、8年間（92年度まで）、13年間（97年度まで）の継続率が算出可能である。同様に、88年度受給者は4年間（92年度まで）、9年間（97年度まで）の継続率、92年度受給者は5年間（97年度まで）の継続率が求められる。さらに、その区間における単年ごとの継続率は指数関数的に減少していると仮定することで、受給継続率の推計値を単位ごとに算出した。また、84年度、88年度、92年度受給者から得られた単年ごとの継続率を平均した平均受給継続率も算出した。

受給継続率の単年ごとの推計方法、平均受給継続率の計算方法は以下に示すとおりである。

①受給継続率の推計方法

各調査年度の受給者数、継続率、継続年数を以下のように示す。

84年度受給者		88年度受給者		92年度受給者	
Z10	84年度受給者数	Z20	88年度受給者数	Z30	92年度受給者数
X11	4年継続率	X21	4年継続率	X31	5年継続率
X12	8年継続率	X22	9年継続率		
X13	13年継続率				
y11	継続年数=4	y21	継続年数=4	y31	継続年数=5
y12	継続年数=8	y22	継続年数=9		
y13	継続年数=13				

各調査年度のデータをリンケージした結果から得られた4(5)年継続率、8(9)年継続率、13年継続率を用いて、単年ごとの受給継続率を下記に示す方法で推計した。

0年継続率	$P_{10}=1$	$P_{20}=1$	$P_{30}=1$
	$P'_{11}=(X_{11})^{1/y_{11}}$	$P'_{21}=(X_{21})^{1/y_{21}}$	$P'_{31}=(X_{31})^{1/y_{31}}$
1年継続率	$P_{11}=\underline{P_{10} * P'_{11}}$	$P_{21}=\underline{P_{20} * P'_{21}}$	$P_{31}=\underline{P_{30} * P'_{31}}$
2年継続率	$P_{12}=\underline{P_{11} * P'_{11}}=P_{10} * P'_{11}^2$	$P_{22}=\underline{P_{21} * P'_{21}}=P_{20} * P'_{21}^2$	$P_{32}=\underline{P_{31} * P'_{31}}=P_{30} * P'_{31}^2$
3年継続率	$P_{13}=\underline{P_{12} * P'_{11}}=P_{10} * P'_{11}^3$	$P_{23}=\underline{P_{22} * P'_{21}}=P_{20} * P'_{21}^3$	$P_{33}=\underline{P_{32} * P'_{31}}=P_{30} * P'_{31}^3$
4年継続率	$P_{14}=\underline{P_{13} * P'_{11}}=P_{10} * P'_{11}^4$ $=X_{11}$	$P_{24}=\underline{P_{23} * P'_{21}}=P_{20} * P'_{21}^4$ $=X_{21}$	$P_{34}=\underline{P_{33} * P'_{31}}=P_{30} * P'_{31}^4$
	$P'_{12}=(X_{12}/X_{11})^{1/(y_{12}-y_{11})}$	$P'_{22}=(X_{22}/X_{21})^{1/(y_{22}-y_{21})}$	
5年継続率	$P_{15}=\underline{P_{14} * P'_{12}}$	$P_{25}=\underline{P_{24} * P'_{22}}$	$P_{35}=\underline{P_{34} * P'_{31}}=P_{30} * P'_{31}^5$ $=X_{31}$
6年継続率	$P_{16}=\underline{P_{15} * P'_{12}}=P_{14} * P'_{12}^2$	$P_{26}=\underline{P_{25} * P'_{22}}=P_{24} * P'_{22}^2$	
7年継続率	$P_{17}=\underline{P_{16} * P'_{12}}=P_{14} * P'_{12}^3$	$P_{27}=\underline{P_{26} * P'_{22}}=P_{24} * P'_{22}^3$	
8年継続率	$P_{18}=\underline{P_{17} * P'_{12}}=P_{14} * P'_{12}^4$ $=X_{12}$	$P_{28}=\underline{P_{27} * P'_{22}}=P_{24} * P'_{22}^4$	
	$P'_{13}=(X_{13}/X_{12})^{1/(y_{13}-y_{12})}$		
9年継続率	$P_{19}=\underline{P_{18} * P'_{13}}$	$P_{29}=\underline{P_{28} * P'_{22}}=P_{24} * P'_{22}^5=X_{22}$	
10年継続率	$P_{1a}=\underline{P_{19} * P'_{13}}=P_{18} * P'_{13}^2$		
11年継続率	$P_{1b}=\underline{P_{1a} * P'_{13}}=P_{18} * P'_{13}^3$		
12年継続率	$P_{1c}=\underline{P_{1b} * P'_{13}}=P_{18} * P'_{13}^4$		
13年継続率	$P_{1d}=\underline{P_{1c} * P'_{13}}=P_{18} * P'_{13}^5=X_{13}$		

注：下線は継続率の推計値を示す。

②平均受給継続率の計算方法

平均受給継続率の計算は、以下の手順で行った。

- 各調査年度の継続率から推計した単年ごとの継続率より単年ごとの受給者数を推計する。
- a) で推計された84年度、88年度、92年度受給者数の総和を単年ごとに求める。
- b) で得られた単年ごとの受給者数の総和から、各調査年度の経年継続率が一樣であったと仮定した場合の平均受給継続率を算出する。

各調査年度の継続受給者数、継続年数を以下のように示す。

84年度受給者		88年度受給者		92年度受給者	
Z10	84年度受給者数	Z20	88年度受給者数	Z30	92年度受給者数
Z14	4年継続受給者数	Z24	4年継続受給者数	Z35	5年継続受給者数
Z18	8年継続受給者数	Z29	9年継続受給者数		
Z1d	13年継続受給者数				
W1i	i年後受給者数	W2i	i年後受給者数	W3i	i年後受給者数
y11	継続年数=4	y21	継続年数=4	y31	継続年数=5
y12	継続年数=8	y22	継続年数=9		
y13	継続年数=13				

上記のa)～c)の手順に従って、単年ごとの平均受給継続率を算出した。

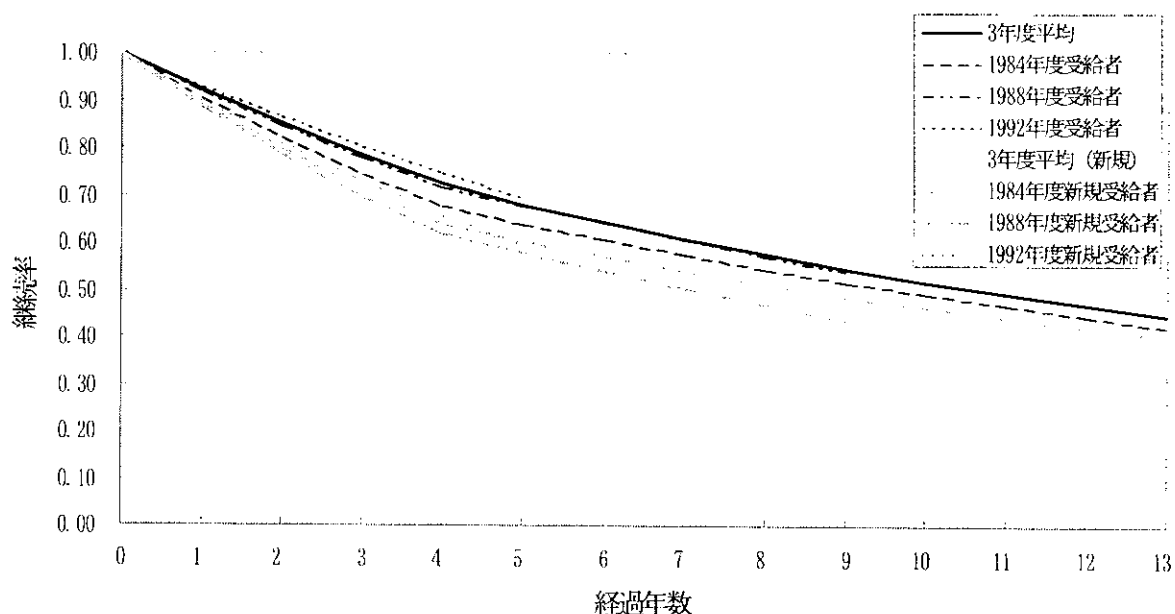
	84年度受給者	88年度受給者	92年度受給者	84、88、92年度 受給者数の和	平均受給 継続率
0年後受給者数	Z10=84年度受給者数 $P'11 = (X11)^{1/y11}$	Z20=88年度受給者数 $P'21 = (X21)^{1/y21}$	Z30=92年度受給者数 $P'31 = (X31)^{1/y31}$	S0=Z10+Z20+Z30	K0=S0/S0
1年後受給者数	W11=Z10 * P'11	W21=Z20 * P'21	W31=Z30 * P'31	S1=W11+W21+W31	K1=K0 * S1/S0
2年後受給者数	W12=W11 * P'11=Z10 * P'11 ²	W22=W21 * P'21=Z20 * P'21 ²	W32=W31 * P'31=Z30 * P'31 ²	S2=W12+W22+W32	K2=K1 * S2/S1
3年後受給者数	W13=W12 * P'11=Z10 * P'11 ³	W23=W22 * P'21=Z20 * P'21 ³	W33=W32 * P'31=Z30 * P'31 ³	S3=W13+W23+W33	K3=K2 * S3/S2
4年後受給者数	W14=W13 * P'11=Z10 * P'11 ⁴ =Z14 $P'12 = (X12/X11)^{1/(y12-y11)}$	W24=W23 * P'21=Z20 * P'21 ⁴ =Z24 $P'22 = (X22/X21)^{1/(y22-y21)}$	W34=W33 * P'31=Z30 * P'31 ⁴	S4=W14+W24+W34	K4=K3 * S4/S3
5年後受給者数	W15=Z14 * P'12	W25=Z24 * P'22	W35=W34 * P'31=Z30 * P'31 ⁵ =Z35	S5=W15+W25+Z35 S5'=W15+W25	K5=K4 * S5/S4
6年後受給者数	W16=W15 * P'12=Z14 * P'12 ²	W26=W25 * P'22=Z24 * P'22 ²		S6=W16+W26	K6=K5 * S6/S5'
7年後受給者数	W17=W16 * P'12=Z14 * P'12 ³	W27=W26 * P'22=Z24 * P'22 ³		S7=W17+W27	K7=K6 * S7/S6
8年後受給者数	W18=W17 * P'12=Z14 * P'12 ⁴ =Z18 $P'13 = (X13/X12)^{1/(y13-y12)}$	W28=W27 * P'22=Z24 * P'22 ⁴		S8=W18+W28	K8=K7 * S8/S7
9年後受給者数	W19=Z18 * P'13	W29=W28 * P'22=Z24 * P'22 ⁵ =Z29		S9=W19+Z29 S9'=W19	K9=K8 * S9/S8
10年後受給者数	W1a=W19 * P'13=Z18 * P'13 ²			S10=W1a	K10=K9 * S10/S9'
11年後受給者数	W1b=W1a * P'13=Z18 * P'13 ³			S11=W1b	K11=K10 * S11/S10
12年後受給者数	W1c=W1b * P'13=Z18 * P'13 ⁴			S12=W1c	K12=K11 * S12/S11
13年後受給者数	W1d=W1c * P'13=Z18 * P'13 ⁵ =Z1d			S13=Z1d	K13=K12 * S13/S12

以上、①②の計算の結果から、下図（図I）が作成できる。これは、84年度受給者については97年度調査時点までの13年間、88年度受給者については97年度までの9年間、92年度受給者については97年度までの5年間の受給継続率を単年ごとに全受給者と新規受給者別に示したものの、また、これらの3調査年度（84年度、88年度、92年度）の平均受給継続率を示したものである。

さらに、この図を疾患別に作成し、疾患ごとの継続状況を示した（図1-1-3-n参照）。この際、疾患によって給付対象となった年度が異なるため、92年度に調査対象であった34疾患全てについて84年度、88年度時点からの継続状況を示すことができない。このため、84年度に既に給付対象であった1. ベーチェット病から26. 特発性拡張型心筋症までの26疾患は、84年度、88年度、92年度の3調査時点の受給者について各調査年度以降の受給継続状況を示した。また、平均受給継続率はこれら3調査年度（84年度、88年度、92年度）の平均とした。同様に、88年度調査時点で新たに給付対象となった27. シャイ・ドレーガー症候群から30. 広範脊柱管狭窄症の4疾患については、88年度、92年度の2調査時点の受給者について各調査年度以降の受給継続状況を示し、平均受給継続率はこれら2調査年度の平均とした。また、31. 原発性胆汁性肝硬変から34. 混合性結合組織病の4疾患については、新たに給付対象となった92年度以降の受給継続率を示した。

疾患ごとの継続状況の特徴を把握する上で、性・年齢階級別の継続状況を観察することは特に重要である。このため、疾患ごとの性・年齢階級別継続状況も表として別に示した。

図I 84、88、92年度受給者および3年度平均受給継続率



(2) 受給者の過去の受給状況

88年度、92年度、97年度の各調査年度における受給者が過去の調査年度に遡った場合、受給を確認できた最も古い調査年度がいつだったのかをリンケージ結果を用いて示した。その区分方法を表Ⅳに示す。例えば、97年度の受給者については、88年度、92年度の受給の有無にかかわらず最も古い受給年度が84年度であった者（84??97：84年度受給）、84年度は受給しておらず最も古い受給年度が88年度であった者（×88?97：88年度受給）、84年度、88年度共に受給しておらず最も古い受給年度が92年度であった者（××9297：92年度受給）、84年度、88年度、92年度の何れの年度も受給していなかった者（×××97：過去の受給なし）の4つに区分した。同様の考え方で、92年度の受給者は、最も古い受給年度が84年度であった84年度受給（84?92）、84年度は受給しておらず88年度に受給していた88年度受給（×8892）、過去の受給なし（××92）の3つに、88年度の受給者は、84年度に受給していた84年度受給（8488）、84年度に受給していなかった過去の受給なし（×88）の2つにそれぞれ区分した。この区分ごとに疾患別、性・年齢階級別、医療保険の種類別、都道府県別に集計し示した。なお、年齢は、過去の調査年度に遡る際に起点となった調査年度の年齢を使用した。

また、性・年齢階級別の過去の受給状況は疾患ごとにも示した。この際、前記のように疾患によって給付対象となった年度が異なっていることを考慮し、1. ベーチェット病から26. 特発性拡張型心筋症までの26疾患については、97年度と92年度、88年度の受給者を起点として84年度までの受給状況を、27. シャイ・ドレーガー症候群から30. 広範脊柱管狭窄症の4疾患については、97年度と92年度の受給者を起点として88年度までの受給状況を、31. 原発性胆汁性肝硬変から34. 混合性結合組織病の4疾患については、97年度の受給者を起点として92年度まで遡った受給状況を示した。

表Ⅳ 97、92、88年度受給者の過去の各調査年度における受給状況

調査年度	84	88	92	97	全受給者数	新規受給者数	* (%)
1997年度受給者	?	?	?	○	399,719 (100%)	58,770 (100%)	14.7
84年度受給 84??97	○	?	?	○	49,532 (12.4%)	891 (1.5%)	1.8
88年度受給 ×88?97	×	○	?	○	52,134 (13.0%)	1,008 (1.7%)	1.9
92年度受給 ××9297	×	×	○	○	75,635 (18.9%)	1,106 (1.9%)	1.5
過去の受給なし ×××97	×	×	×	○	222,418 (55.6%)	55,765 (94.9%)	25.1
1992年度受給者	?	?	○	?	247,726 (100%)	41,230 (100%)	16.6
84年度受給 84?92	○	?	○	?	60,616 (24.5%)	1,175 (2.8%)	1.9
88年度受給 ×8892	×	○	○	?	67,904 (27.4%)	1,145 (2.8%)	1.7
過去の受給なし ××92	×	×	○	?	119,206 (48.1%)	38,910 (94.4%)	32.6
1988年度受給者	?	○	?	?	173,637 (100%)	32,221 (100%)	18.6
84年度受給 8488	○	○	?	?	72,375 (41.7%)	938 (2.9%)	1.3
過去の受給なし ×88	×	○	?	?	101,262 (58.3%)	31,283 (97.1%)	30.9

○：受給、×：非受給、?：受給または非受給、*：(新規受給者数) / (全受給者数) × 100を示す。

Ⅱ 結果

1. 受給者の継続状況

Ⅱ．結果

1. 受給者の継続状況

1984年度に受給した104,771人のうち、13年継続は44,552人(42.5%)、8年継続は12,484人(11.9%)、4年継続は13,892人(13.3%)、継続なしは27,730人(26.5%)、中止後再開は6,113人(5.8%)である(表1-1-1参照)。つまり、「継続なし」を除いたおよそ75%が何らかの形で継続しており、このうち、4年後まで継続する患者がおよそ70%、8年後まで継続する患者がおよそ55%、13年後まで継続する患者がおよそ40%であるとみなされる。88年度、92年度の継続率も類似した状況であり、これらの結果を総合すると、受給者の継続状況は次のとおりである。すなわち、ある年度の受給者を対象としてそれ以後の継続状況を観察すると、4年以内で受給を止める患者がおよそ25%、4～5年後まで継続して受給する患者がおよそ70%、さらに残りの5%は4年以内に受給を一度中止するが数年後に再び受給を開始する患者である。また、8～9年後まで継続して受給する患者はおよそ55%、10年以上継続して受給する患者はおよそ40%存在する。

また、新規受給者についてみると、1984年度の新規受給者35,738人のうち、13年継続は14,394人(40.3%)、8年継続は3,907人(10.9%)、4年継続は4,577人(12.8%)、継続なしは10,590人(29.6%)、中止後再開は2,270人(6.4%)であり、継続して受給する患者の割合は全受給者よりもやや低い(表1-1-2参照)。

1) 疾患別

表1-1-1、図1-1-1は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を疾患別に示したものである。84年度受給者で97年度の調査時点までの最長13年間の継続状況が観察できるのは、84年度に給付対象であった1. ベーチェット病(1972年4月1日に給付対象)から26. 特発性拡張型心筋症(1985年1月1日に受給対象)までである。また、88年度受給者については、1. ベーチェット病から30. 広範脊柱管狭窄症(1989年1月1日に給付対象)まで、92年度受給者については、1. ベーチェット病から34. 混合性結合組織病(1993年1月1日に給付対象)までが観察可能である。

13年後の平均継続率が0.50を越えている疾患は、ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、スモン、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、クローン病、ウイルス動脈輪閉塞症であり、これらの疾患は比較的受給を継続する患者が多い。これに対して、13年後の継続率が0.25を下回る疾患は、筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、パーキンソン病、アミロイドーシス、ハンチントン舞蹈病であり、これらの疾患は受給を継続する患者が少ない。88年度調査以降で給付対象となった疾患は観察期間が最長でも9年と短い。膿疱性乾癬、混合性結合組織病は受給継続率が比較的高く、シャイ・ドレ

一ガ一症候群、重症急性膵炎は受給継続率が比較的低い。

表1-1-2、図1-1-2は、84年度、88年度、92年度の各調査時点における新規受給者の継続状況を疾患別に示したものである。受給継続率の高低を疾患別にみると、全受給者でみた状況と類似しているが、受給継続率の値は全受給者よりも新規受給者の方がやや低い。

図1-1-3は84年度、88年度、92年度の受給者と新規受給者の受給継続率およびそれぞれの3年度平均受給継続率を図示したものである。全受給者の継続率は84年度が最も低く、88年度、92年度と年次を追うに従って高くなっている。3年度平均受給継続率をみると、2年後まで継続する患者はおおよそ85%、7年後まで継続する患者がおおよそ60%、10~11年後まで継続する患者がおおよそ半分である。また継続受給率の推移は最初の4年間で低下に比べて4年以上では緩やかである。新規受給者の継続率は、全受給者とは異なり88年度が最も低く、84年度、92年度の順で高くなっている。受給継続率は最初の4年では年次が進むに従って全受給者よりも低くなり、4年以上経過すると全受給者よりも7~8%程度低値のまま推移している。図1-1-3-n（nは疾患番号を示す）として、疾患ごとの各調査年度における受給者と新規受給者の受給継続率及び平均受給継続率を示す。この図から、継続率の低い疾患であってもパーキンソン病とハンチントン舞蹈病は、年次を追うに従ってほぼ一定で受給継続率が低下しているのに対し、筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、アミロイドーシスでは継続年数2~3年での受給継続率の低下が大きいことがわかる。特に劇症肝炎の受給継続率の低下は急激であり、継続年数が3年の時点で受給継続率が0.30を下回っている。

2) 性・年齢階級別

表1-2-1、図1-2-1は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を性・年齢階級別に示したものである。

84年度受給者の継続状況を性別にみると、男では継続なしは32.6%、4年以上継続（4年継続、8年継続、13年継続の和）は61.7%、8年以上継続（8年継続と13年継続の和）は46.4%、13年継続は34.2%、女では継続なしは23.6%、4年以上継続は70.5%、8年以上継続は58.2%、13年継続は46.4%であり、継続受給者の割合は男より女の方が高い。この傾向は88年度、92年度受給者についても同様である。これは、前記の継続率の高い疾患のうち、全身性エリテマトーデス、スモン、大動脈炎症候群、混合性結合組織病の受給者が女に多く、継続率の低い疾患のうち筋萎縮性側索硬化症、シャイ・ドレーガー症候群、重症急性膵炎の受給者が男に多いことを反映した結果と考えられる。

年齢階級別にみると、男の4~5年以上継続する患者の割合は、0~4歳ではおおよそ35%であるが、年齢が高くなるに従ってこの割合も高くなり、30~59歳ではおおよそ70%になる。60歳以上では継続する患者の割合は年齢が高くなるに従って低下する。また、84年度受給者の4~5年以上継続する患者の割合は、25~59歳で他の年齢よりも高いが、88年度、92年度と調査年度が進むにつれて15~24歳の継続受給者の割合が高くなり、92年度で5年継続している患者の割合は10~64歳で高く60%を越えている。

女の年齢階級別分布も男と同様であるが、30～59歳で4～5年以上継続する患者の割合は男よりもやや高くおよそ80%である。

表1-2-2、図1-2-2は、84年度、88年度、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況を性・年齢階級別に示したものである。全受給者と比べると、調査年度が進むに従って継続受給している患者の割合は新規受給者の方が低くなっている。

3) 医療保険の種類別

表1-3-1、図1-3-1は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を医療保険の種類別に示したものである。4～5年以上継続する患者の割合は、健康保険本人、健康保険家族、国民健康保険、退職者医療のいずれもおよそ70%程度であるが、老人保健法に基づく医療ではおよそ50%であり、他の医療保険に比べて低い。

表1-3-2、図1-3-2は、84年度、88年度、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況を医療保険の種類別に示したものである。全受給者と比較すると、84年度の健康保険本人で全受給者と新規受給者の継続状況がほぼ同じであることを除くと、何れの年度も医療保険の種類にかかわらず新規受給者の方が継続患者の割合は低い。

4) 都道府県別

表1-4-1、図1-4-1は、84、88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を都道府県別に示したものである。都道府県別継続患者の割合は調査年度で異なっており、この割合の地域差は明らかでない。表1-4-2、図1-4-2は、84、88、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況を都道府県別に示したものである。ほとんどの都道府県で全受給者に比べて新規受給者の継続患者の割合の方が低値であるが、84年度の鳥取県では新規受給者の継続患者の割合が全受給者の割合よりも高い。

5) 疾患ごとの受給者の継続状況，性・年齢階級別

性・年齢階級別継続状況は、前記の受給継続率の図と同様に、図表の形で疾患ごとに示した。なお、それぞれの表（図）の表示は次のとおりである（nは疾患番号を示す）。

(1) 疾患番号が1から26

表1-5-1-n

図1-5-1-n 84、88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況，性・年齢階級別

(2) 疾患番号が27から30

表1-5-1-n

図1-5-1-n 88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況，性・年齢階級別

(3) 疾患番号が31から34

表1-5-1-n

図1-5-1-n 92年度受給者の各調査年度までの継続状況，性・年齢階級別

Ⅱ 結果

1. 受給者の継続状況

6) 受給者の継続状況の図表

- (1) 疾患別
- (2) 性・年齢階級別
- (3) 医療保険の種類別
- (4) 都道府県別

表1-1-1 84、88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況、疾患別

疾患名	1984年度 受給者数 (100%)	13年継続		8年継続		4年継続		継続なし		中止後再開	
		84889297		848892×		8488××		84××		8488×97 84×9297 84×92× 84××97	
1 ベーチェット病	7,949	4,462 (56.1)	778 (9.8)	862 (10.8)	1,432 (18.0)	415 (5.2)					
2 多発性硬化症	1,739	712 (40.9)	216 (12.4)	245 (14.1)	470 (27.0)	96 (5.5)					
3 重症筋無力症	4,518	2,211 (48.9)	521 (11.5)	520 (11.5)	1,027 (22.7)	239 (5.3)					
4 全身性エリテマトーデス	18,515	10,871 (58.7)	1,914 (10.3)	1,707 (9.2)	2,977 (16.1)	1,046 (5.6)					
5 スモン	2,219	1,162 (52.4)	248 (11.2)	271 (12.2)	381 (17.2)	157 (7.1)					
6 再生不良性貧血	4,726	1,518 (32.1)	605 (12.8)	802 (17.0)	1,622 (34.3)	179 (3.8)					
7 サルコイドーシス	3,633	1,551 (42.7)	439 (12.1)	474 (13.0)	1,019 (28.0)	150 (4.1)					
8 筋萎縮性側索硬化症	1,536	172 (11.2)	113 (7.4)	210 (13.7)	1,016 (66.1)	25 (1.6)					
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	7,493	3,401 (45.4)	1,028 (13.7)	1,006 (13.4)	1,721 (23.0)	337 (4.5)					
10 特発性血小板減少性紫斑病	7,909	2,377 (30.1)	887 (11.2)	1,268 (16.0)	2,996 (37.9)	381 (4.8)					
11 結節性動脈周囲炎	871	241 (27.7)	92 (10.6)	89 (10.2)	421 (48.3)	28 (3.2)					
12 潰瘍性大腸炎	9,193	4,476 (48.7)	895 (9.7)	1,050 (11.4)	1,964 (21.4)	808 (8.8)					
13 大動脈炎症候群	2,986	1,622 (54.3)	325 (10.9)	342 (11.5)	534 (17.9)	163 (5.5)					
14 ビュルガー病	4,734	2,176 (46.0)	587 (12.4)	589 (12.4)	1,102 (23.3)	280 (5.9)					
15 天疱瘡	845	332 (39.3)	117 (13.8)	119 (14.1)	238 (28.2)	39 (4.6)					
16 脊髄小脳変性症	3,766	972 (25.8)	497 (13.2)	705 (18.7)	1,427 (37.9)	165 (4.4)					
17 クロウン病	2,178	1,166 (53.5)	226 (10.4)	221 (10.1)	413 (19.0)	152 (7.0)					
18 劇症肝炎	405	12 (3.0)	3 (0.7)	40 (9.9)	348 (85.9)	2 (0.5)					
19 悪性関節リウマチ	2,854	733 (25.7)	422 (14.8)	565 (19.8)	1,057 (37.0)	77 (2.7)					
20 パーキンソン病	11,805	2,830 (24.0)	1,968 (16.7)	2,145 (18.2)	3,886 (32.9)	976 (8.3)					
21 アミロイドーシス	249	27 (10.8)	16 (6.4)	35 (14.1)	166 (66.7)	5 (2.0)					
22 後縦靭帯骨化症	2,461	694 (28.2)	346 (14.1)	319 (13.0)	892 (36.2)	210 (8.5)					
23 ハンチントン舞踏病	210	29 (13.8)	28 (13.3)	53 (25.2)	93 (44.3)	7 (3.3)					
24 ウィリス動脈輪閉塞症	1,341	665 (49.6)	147 (11.0)	160 (11.9)	275 (20.5)	94 (7.0)					
25 ウェゲナー肉芽腫症	135	47 (34.8)	23 (17.0)	22 (16.3)	39 (28.9)	4 (3.0)					
26 特発性拡張型心筋症 *	501	93 (18.6)	43 (8.6)	73 (14.6)	214 (42.7)	78 (15.6)					
27 シャイ・ドレーガー症候群											
28 表皮水疱症											
29 膿疱性乾癬											
30 広範脊柱管狭窄症 **											
31 原発性胆汁性肝硬変											
32 重症急性膵炎											
33 特発性大腿骨頭壊死症											
34 混合性結合組織病 ***											
26 疾患合計	104,771	44,552 (42.5)	12,484 (11.9)	13,892 (13.3)	27,730 (26.5)	6,113 (5.8)					
合計	104,771	44,552 (42.5)	12,484 (11.9)	13,892 (13.3)	27,730 (26.5)	6,113 (5.8)					

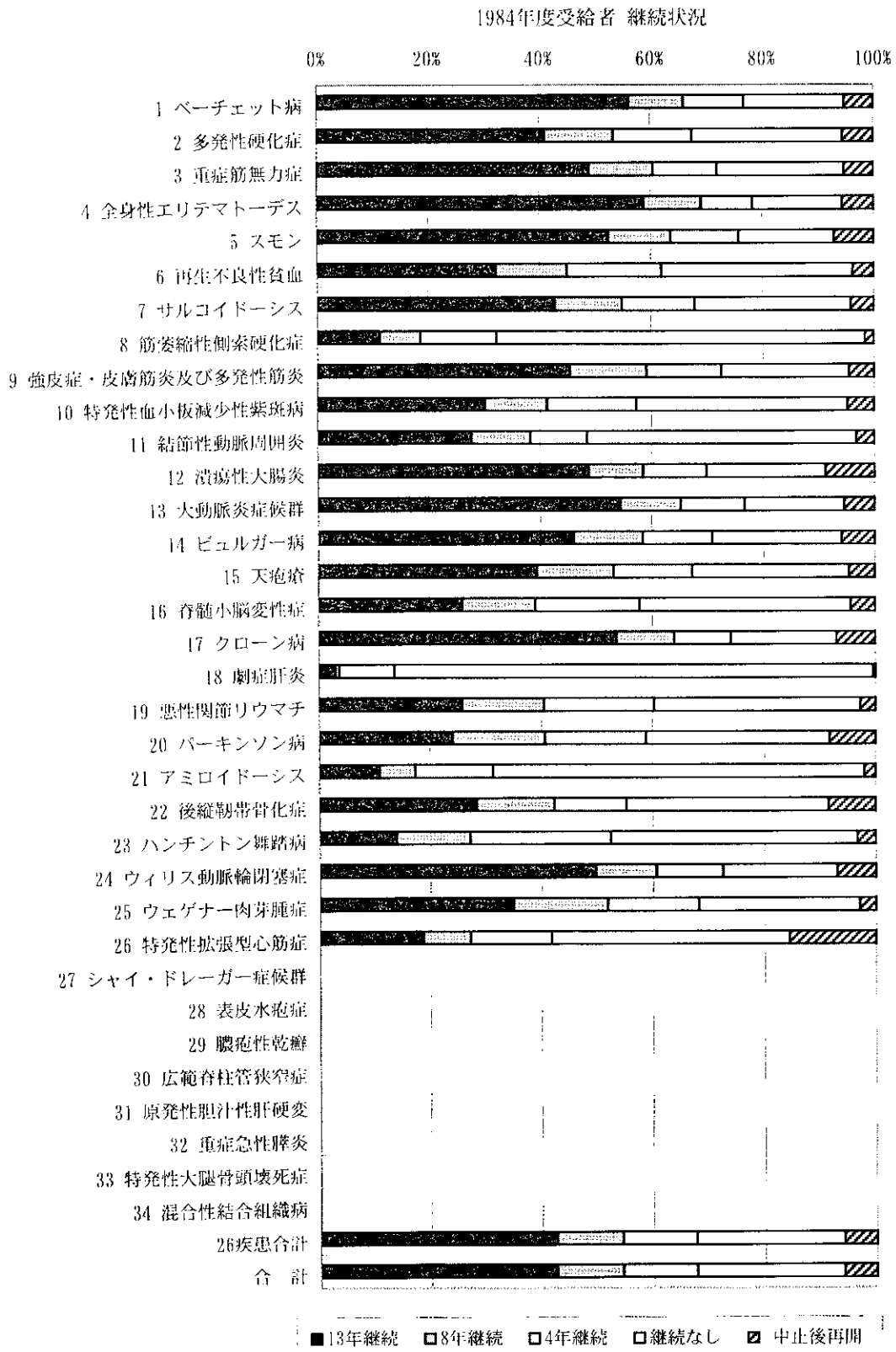
*:26 特発性拡張型心筋症は1985年1月1日に給付対象となった。

** :30 広範脊柱管狭窄症は1989年1月1日に給付対象となった。

***:34 混合性結合組織病は1993年1月1日に給付対象となった。

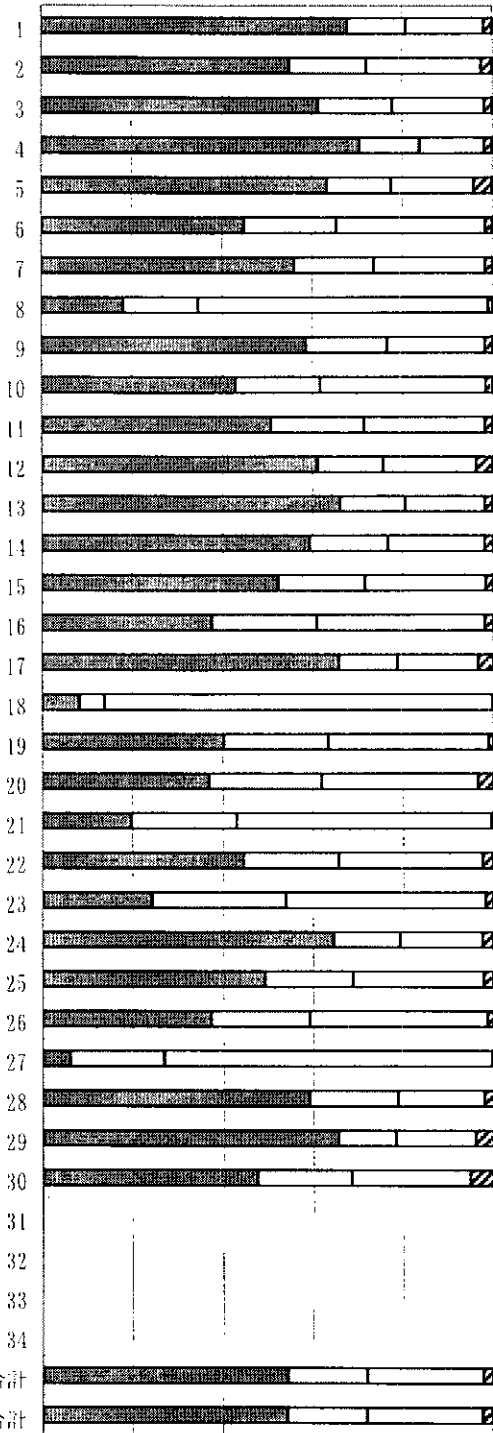
疾患	1988年度 受給者数 (100%)	9年継続		4年継続		継続なし		中止後再開		1992年度 受給者数 (100%)	5年継続		継続なし	
		889297		8892×		88××		88×97			9297		92×	
1	11,102	7,525 (67.8)	1,452 (13.1)	1,917 (17.3)	208 (1.9)	13,417	10,712 (79.8)	2,705 (20.2)						
2	2,910	1,598 (54.9)	501 (17.2)	739 (25.4)	72 (2.5)	4,185	3,015 (72.0)	1,170 (28.0)						
3	6,486	3,982 (61.4)	1,065 (16.4)	1,325 (20.4)	114 (1.8)	8,320	6,276 (75.4)	2,044 (24.6)						
4	27,362	19,292 (70.5)	3,646 (13.3)	3,933 (14.4)	491 (1.8)	35,690	29,002 (81.3)	6,688 (18.7)						
5	2,226	1,407 (63.2)	318 (14.3)	409 (18.4)	92 (4.1)	2,012	1,577 (78.4)	435 (21.6)						
6	6,369	2,849 (44.7)	1,310 (20.6)	2,111 (33.1)	99 (1.6)	7,652	4,870 (63.6)	2,782 (36.4)						
7	6,242	3,494 (56.0)	1,107 (17.7)	1,539 (24.7)	102 (1.6)	9,756	6,992 (71.7)	2,764 (28.3)						
8	2,507	452 (18.0)	418 (16.7)	1,610 (64.2)	27 (1.1)	3,094	1,014 (32.8)	2,080 (67.2)						
9	11,810	6,917 (58.6)	2,124 (18.0)	2,557 (21.7)	212 (1.8)	17,161	12,451 (72.6)	4,710 (27.4)						
10	13,585	5,807 (42.7)	2,586 (19.0)	4,967 (36.6)	225 (1.7)	19,594	11,900 (60.7)	7,694 (39.3)						
11	1,080	548 (50.7)	223 (20.6)	290 (26.9)	19 (1.8)	1,551	1,045 (67.4)	506 (32.6)						
12	18,449	11,260 (61.0)	2,690 (14.6)	3,812 (20.7)	687 (3.7)	29,882	22,325 (74.7)	7,557 (25.3)						
13	3,891	2,572 (66.1)	561 (14.4)	686 (17.6)	72 (1.9)	4,420	3,523 (79.7)	897 (20.3)						
14	7,813	4,631 (59.3)	1,359 (17.4)	1,676 (21.5)	147 (1.9)	9,526	7,005 (73.5)	2,521 (26.5)						
15	1,363	712 (52.2)	265 (19.4)	363 (26.6)	23 (1.7)	1,903	1,323 (69.5)	580 (30.5)						
16	7,617	2,854 (37.5)	1,791 (23.5)	2,834 (37.2)	138 (1.8)	10,702	6,143 (57.4)	4,559 (42.6)						
17	4,932	3,240 (65.7)	642 (13.0)	885 (17.9)	165 (3.3)	8,928	6,929 (77.6)	1,999 (22.4)						
18	676	55 (8.1)	38 (5.6)	581 (85.9)	2 (0.3)	681	125 (18.4)	556 (81.6)						
19	4,028	1,617 (40.1)	935 (23.2)	1,434 (35.6)	42 (1.0)	4,555	2,745 (60.3)	1,810 (39.7)						
20	20,486	7,541 (36.8)	5,149 (25.1)	7,090 (34.6)	706 (3.4)	27,221	15,769 (57.9)	11,452 (42.1)						
21	396	78 (19.7)	92 (23.2)	224 (56.6)	2 (0.5)	533	193 (36.2)	340 (63.8)						
22	5,617	2,493 (44.4)	1,198 (21.3)	1,789 (31.8)	137 (2.4)	9,690	5,946 (61.4)	3,744 (38.6)						
23	293	71 (24.2)	87 (29.7)	130 (44.4)	5 (1.7)	365	178 (48.8)	187 (51.2)						
24	2,776	1,791 (64.5)	410 (14.8)	506 (18.2)	69 (2.5)	4,259	3,319 (77.9)	940 (22.1)						
25	317	156 (49.2)	62 (19.6)	92 (29.0)	7 (2.2)	459	307 (66.9)	152 (33.1)						
26	2,539	945 (37.2)	558 (22.0)	1,002 (39.5)	34 (1.3)	4,597	2,763 (60.1)	1,834 (39.9)						
27	249	15 (6.0)	52 (20.9)	181 (72.7)	1 (0.4)	358	79 (22.1)	279 (77.9)						
28	193	114 (59.1)	38 (19.7)	37 (19.2)	4 (2.1)	267	203 (76.0)	64 (24.0)						
29	266	174 (65.4)	34 (12.8)	47 (17.7)	11 (4.1)	556	420 (75.5)	136 (24.5)						
30	57	27 (47.4)	12 (21.1)	15 (26.3)	3 (5.3)	463	275 (59.4)	188 (40.6)						
31						2,938	2,149 (73.1)	789 (26.9)						
32						477	82 (17.2)	395 (82.8)						
33						2,095	1,291 (61.6)	804 (38.4)						
34						419	353 (84.2)	66 (15.8)						
26疾患	172,872	93,887 (54.3)	30,587 (17.7)	44,501 (25.7)	3,897 (2.3)	240,153	167,447 (69.7)	72,706 (30.3)						
合計	173,637	94,217 (54.3)	30,723 (17.7)	44,781 (25.8)	3,916 (2.3)	247,726	172,299 (69.6)	75,427 (30.4)						

図1-1-1 84、88、92年度受給者の各調査年度までの継続状況，疾患別



1988年度受給者 継続状況

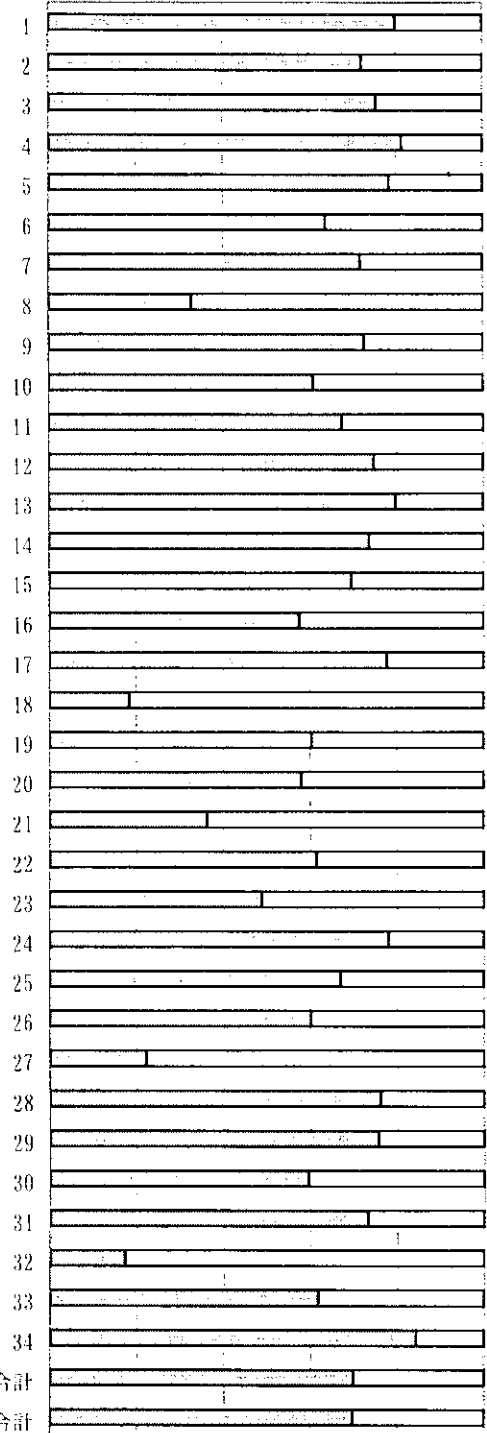
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 9年継続 □ 4年継続 □ 継続なし ■ 中止後再開

1992年度受給者 継続状況

0% 20% 40% 60% 80% 100%



□ 5年継続 □ 継続なし

表1-1-2 84、88、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況、疾患別

疾患名	1984年度 新規 受給者数 (100%)	13年継続		8年継続		4年継続		継続なし		中止後再開		
		84889297		848892×		8488×		84×		8488×97	84×9297	84×92×
1 ベーチェット病	2,561	1,419 (55.4)	231 (9.0)	278 (10.9)	495 (19.3)	138 (5.4)						
2 多発性硬化症	565	210 (37.2)	60 (10.6)	82 (14.5)	176 (31.2)	37 (6.5)						
3 重症筋無力症	1,266	595 (47.0)	130 (10.3)	149 (11.8)	327 (25.8)	65 (5.1)						
4 全身性エリテマトーデス	5,339	3,144 (58.9)	512 (9.6)	452 (8.5)	930 (17.4)	301 (5.6)						
5 スモン	292	138 (47.3)	33 (11.3)	31 (10.6)	66 (22.6)	24 (8.2)						
6 再生不良性貧血	1,419	390 (27.5)	162 (11.4)	222 (15.6)	589 (41.5)	56 (3.9)						
7 サルコイドーシス	1,349	548 (40.6)	146 (10.8)	178 (13.2)	426 (31.6)	51 (3.8)						
8 筋萎縮性側索硬化症	822	63 (7.7)	43 (5.2)	108 (13.1)	599 (72.9)	9 (1.1)						
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	2,269	977 (43.1)	311 (13.7)	284 (12.5)	588 (25.9)	109 (4.8)						
10 特発性血小板減少性紫斑病	2,585	705 (27.3)	261 (10.1)	402 (15.6)	1,085 (42.0)	132 (5.1)						
11 結節性動脈周囲炎	289	85 (29.4)	27 (9.3)	26 (9.0)	143 (49.5)	8 (2.8)						
12 潰瘍性大腸炎	3,685	1,757 (47.7)	332 (9.0)	422 (11.5)	830 (22.5)	344 (9.3)						
13 大動脈炎症候群	767	400 (52.2)	67 (8.7)	91 (11.9)	159 (20.7)	50 (6.5)						
14 ビュルガー病	2,068	1,003 (48.5)	219 (10.6)	225 (10.9)	479 (23.2)	142 (6.9)						
15 天疱瘡	289	111 (38.4)	37 (12.8)	34 (11.8)	91 (31.5)	16 (5.5)						
16 脊髄小脳変性症	1,517	365 (24.1)	184 (12.1)	308 (20.3)	574 (37.8)	86 (5.7)						
17 クロウン病	1,079	577 (53.5)	108 (10.0)	111 (10.3)	194 (18.0)	89 (8.2)						
18 劇症肝炎	286	2 (0.7)	1 (0.3)	12 (4.2)	270 (94.4)	1 (0.3)						
19 悪性関節リウマチ	742	190 (25.6)	92 (12.4)	130 (17.5)	308 (41.5)	22 (3.0)						
20 パーキンソン病	3,983	1,007 (25.3)	649 (16.3)	683 (17.1)	1,269 (31.9)	375 (9.4)						
21 アミロイドーシス	135	8 (5.9)	9 (6.7)	22 (16.3)	94 (69.6)	2 (1.5)						
22 後縦靭帯骨化症	1,284	329 (25.6)	167 (13.0)	146 (11.4)	522 (40.7)	120 (9.3)						
23 ハンチントン舞蹈病	91	16 (17.6)	13 (14.3)	27 (29.7)	31 (34.1)	4 (4.4)						
24 ウィリス動脈輪閉塞症	514	233 (45.3)	54 (10.5)	69 (13.4)	121 (23.5)	37 (7.2)						
25 ウェゲナー肉芽腫症	100	33 (33.0)	17 (17.0)	15 (15.0)	32 (32.0)	3 (3.0)						
26 特発性拡張型心筋症*	442	89 (20.1)	42 (9.5)	70 (15.8)	192 (43.4)	49 (11.1)						
27 シャイ・ドレーガー症候群												
28 表皮水疱症												
29 膿疱性乾癬												
30 広範脊柱管狭窄症**												
31 原発性胆汁性肝硬変												
32 重症急性膵炎												
33 特発性大腿骨頭壊死症												
34 混合性結合組織病***												
26 疾患合計	35,738	14,394 (40.3)	3,907 (10.9)	4,577 (12.8)	10,590 (29.6)	2,270 (6.4)						
合計	35,738	14,394 (40.3)	3,907 (10.9)	4,577 (12.8)	10,590 (29.6)	2,270 (6.4)						

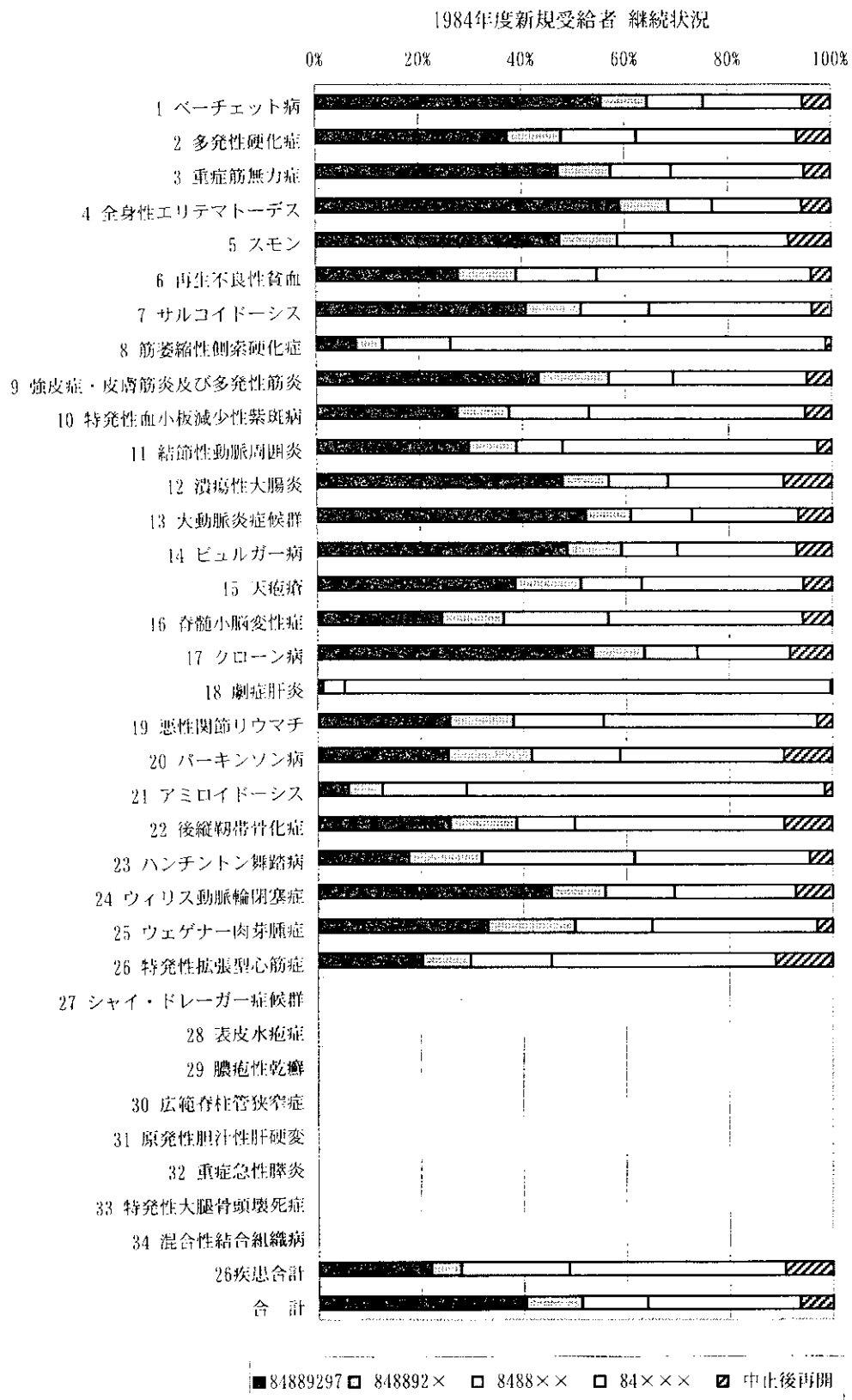
*:26 特発性拡張型心筋症は1985年1月1日に給付対象となった。

** :30 広範脊柱管狭窄症は1989年1月1日に給付対象となった。

***:34 混合性結合組織病は1993年1月1日に給付対象となった。

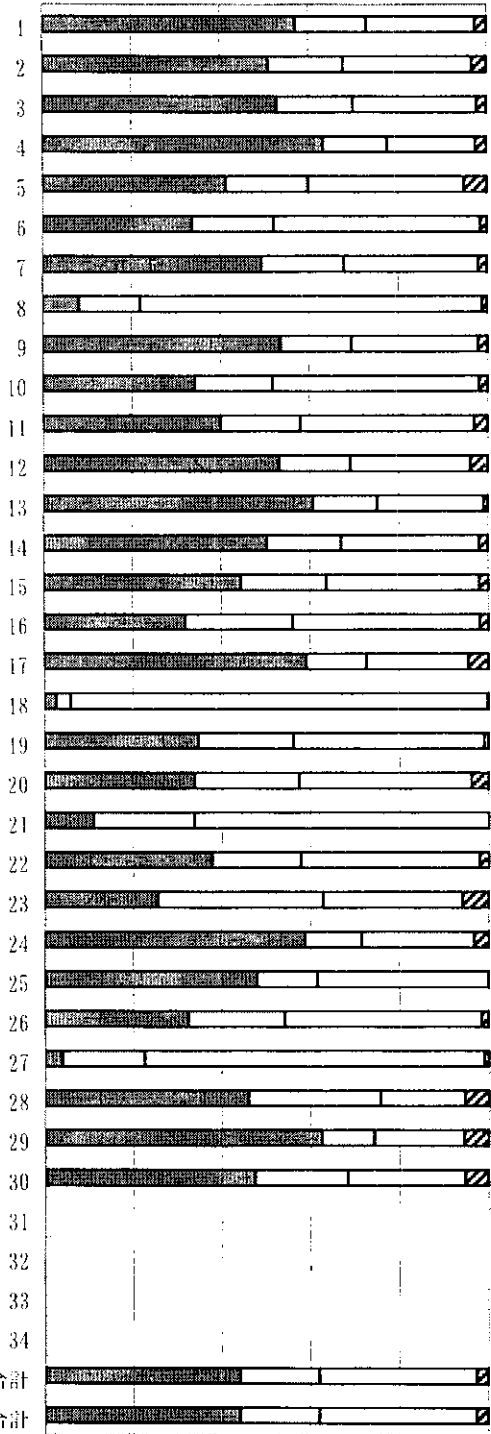
疾患	1988年度 新規 受給者数 (100%)	9年継続	4年継続	継続なし	中止後再開	1992年度 新規 受給者数 (100%)	5年継続	継続なし
		889297	8892×	88××	88×97		9297	92×
1	1.288	735 (57.1)	206 (16.0)	314 (24.4)	33 (2.6)	1.189	821 (69.0)	368 (31.0)
2	574	292 (50.9)	97 (16.9)	166 (28.9)	19 (3.3)	616	405 (65.7)	211 (34.3)
3	917	484 (52.8)	159 (17.3)	254 (27.7)	20 (2.2)	970	646 (66.6)	324 (33.4)
4	3.449	2.181 (63.2)	496 (14.4)	682 (19.8)	90 (2.6)	3.666	2.684 (73.2)	982 (26.8)
5	97	40 (41.2)	18 (18.6)	34 (35.1)	5 (5.2)	65	35 (53.8)	30 (46.2)
6	1.130	379 (33.5)	208 (18.4)	526 (46.5)	17 (1.5)	1.176	609 (51.8)	567 (48.2)
7	1.236	609 (49.3)	230 (18.6)	371 (30.0)	26 (2.1)	1.674	1.088 (65.0)	586 (35.0)
8	886	72 (8.1)	123 (13.9)	680 (76.7)	11 (1.2)	1.017	220 (21.6)	797 (78.4)
9	1.899	1.017 (53.6)	305 (16.1)	537 (28.3)	40 (2.1)	2.487	1.619 (65.1)	868 (34.9)
10	3.101	1.054 (34.0)	549 (17.7)	1.441 (46.5)	57 (1.8)	4.074	1.980 (48.6)	2.094 (51.4)
11	195	78 (40.0)	35 (17.9)	76 (39.0)	6 (3.1)	283	162 (57.2)	121 (42.8)
12	3.763	1.999 (53.1)	607 (16.1)	1.007 (26.8)	150 (4.0)	5.361	3.537 (66.0)	1.824 (34.0)
13	390	237 (60.8)	56 (14.4)	93 (23.8)	4 (1.0)	343	259 (75.5)	84 (24.5)
14	1.283	645 (50.3)	216 (16.8)	396 (30.9)	26 (2.0)	912	578 (63.4)	334 (36.6)
15	250	111 (44.4)	48 (19.2)	86 (34.4)	5 (2.0)	292	193 (66.1)	99 (33.9)
16	1.714	543 (31.7)	418 (24.4)	720 (42.0)	33 (1.9)	2.060	1.108 (53.8)	952 (46.2)
17	1.102	651 (59.1)	149 (13.5)	253 (23.0)	49 (4.4)	1.649	1.151 (69.8)	498 (30.2)
18	450	12 (2.7)	15 (3.3)	422 (93.8)	1 (0.2)	382	23 (6.0)	359 (94.0)
19	657	228 (34.7)	141 (21.5)	281 (42.8)	7 (1.1)	655	336 (51.3)	319 (48.7)
20	4.340	1.465 (33.8)	1.028 (23.7)	1.679 (38.7)	168 (3.9)	5.037	2.801 (55.6)	2.236 (44.4)
21	145	16 (11.0)	33 (22.8)	96 (66.2)	.	138	36 (26.1)	102 (73.9)
22	1.563	590 (37.7)	314 (20.1)	625 (40.0)	34 (2.2)	2.046	1.112 (54.3)	934 (45.7)
23	51	13 (25.5)	19 (37.3)	16 (31.4)	3 (5.9)	58	31 (53.4)	27 (46.6)
24	530	311 (58.7)	68 (12.8)	134 (25.3)	17 (3.2)	645	473 (73.3)	172 (26.7)
25	73	35 (47.9)	10 (13.7)	28 (38.4)	.	90	44 (48.9)	46 (51.1)
26	779	252 (32.3)	171 (22.0)	344 (44.2)	12 (1.5)	1.067	590 (55.3)	477 (44.7)
27	102	4 (3.9)	19 (18.6)	78 (76.5)	1 (1.0)	123	28 (22.8)	95 (77.2)
28	37	17 (45.9)	11 (29.7)	7 (18.9)	2 (5.4)	28	20 (71.4)	8 (28.6)
29	163	102 (62.6)	19 (11.7)	33 (20.2)	9 (5.5)	105	70 (66.7)	35 (33.3)
30	57	27 (47.4)	12 (21.1)	15 (26.3)	3 (5.3)	146	85 (58.2)	61 (41.8)
31						858	634 (73.9)	224 (26.1)
32						298	43 (14.4)	255 (85.6)
33						1.319	796 (60.3)	523 (39.7)
34						401	335 (83.5)	66 (16.5)
26疾患	31.862	14.049 (44.1)	5.719 (17.9)	11.261 (35.3)	833 (2.6)	37.952	22.541 (59.4)	15.411 (40.6)
合計	32.221	14.199 (44.1)	5.780 (17.9)	11.394 (35.4)	848 (2.6)	41.230	24.552 (59.5)	16.678 (40.5)

図1-1-2 84、88、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況，疾患別



1988年度新規受給者 継続状況

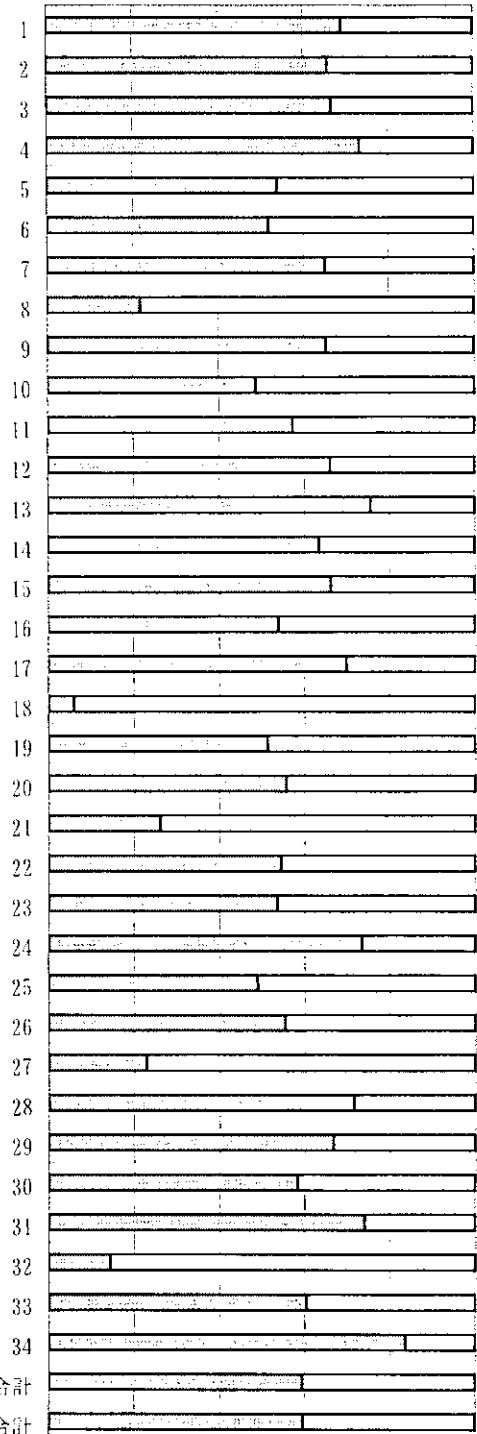
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 889297 □ 8892x □ 88xx ▣ 88x97

1992年度新規受給者 継続状況

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 9297 □ 92x